

戦争させない市民の風・北海道 活動報告と今後の活動方針 2021 (案)

1. これまでの取組みと現状

市民の風・北海道は、安倍政権の暴走を止め、平和と民主主義を守るために、①安保法制の廃止、②安倍改憲の阻止、③立憲主義と民主主義の回復を合意点として、この6年間北海道における市民と野党の共闘づくりに取り組んできました。2016年の衆議院5区補選から始まり、同年の参議院議員選挙、2017年の衆議院議員選挙、そして2019年北海道知事選挙と参議院議員選挙を、志を同じくする市民と野党と共に闘ってきました。そしてこの間の全国における市民と野党の共闘によって安倍晋三の改憲の企みを阻止し、その宿願を果たせないまま退陣に追い込むことができました。

しかし代わって政権の座についた菅義偉首相は、この間の安倍政治の共犯者であり、「自助、共助、公助」というスローガンは、自己責任を国民に強いる利益追求・効率至上主義の「新自由主義路線」そのものです。この間、市場原理による規制緩和と大企業利潤の最大化が進められる一方で、自己責任論により社会保障などの公的サービスが切り捨てられてきました。そのためコロナ禍のなか、社会の中で弱い立場にいる非正規労働者、母子家庭、貯蓄ゼロ世帯などが大きな打撃を受けました。また、医療・介護・福祉分野の仕事に従事する人たちに過重な負担と犠牲を強いることになってしまいました。新自由主義的経済政策により疲弊させられてきた中小企業、農漁業も、大きな打撃を受けました。

一方で8年に及ぶ安倍自公政権は、政治の私物化・腐敗が拡大しました。1月15日に在宅起訴された吉川貴盛元農林水産相の収賄事件は、2月5日に有罪が確定した河井案里と公判中の河井克行氏の買収問題、安倍前首相の森友・加計・桜を見る会の問題とも同根の自民党政権の腐敗と緩みの端的な表出です。吉川氏は病気を理由に議員辞職しましたが、これまで本人からの説明は一切なく、あまつさえ自民党は、4月25日の衆議院北海道2区補選に候補者を立てないという決定をおこないました。

選挙は、多くの人にとって政権に対して意思表示を行うことのできる貴重な機会です。その機会を奪い、国民の声に耳を傾けようとしない自公政権に対し、私たちは毅然としてNO!の意思表示を行わなければなりません。そのために市民の風では2区補選における統一候補実現に向けて立憲・共産両党に要請書を提出し、また立憲各党に参加を得ての街頭宣伝(1月16日)オンライン・シンポジウム(1月30日)など、市民と野党の共闘の一步一步を進めるための努力を重ねてきました。

2区補選と、今秋までに行われる衆院本選は、8年間続いてきた、憲法を蔑ろにし、ウソと改ざん、捏造、忖度の極みである自公政治に歯止めをかけ、これまでの新自由主義経済から、支え合う社会へ、ケアに手厚い社会へと変えていく、政治の流れを変えて政権交代をめざしていくための転換点になります。

最後に、2020年を振り返るとき、コロナ感染症の拡大について触れる必要があります。コロナ禍により国民のいのちと暮らしを顧みない政権の実態がよりあらわになりました。また一方で、感染症対策のため、会議のあり方、集会の持ち方など、私たちの運動の仕方にも変化が起きました。オンラインの活用はすでに始まっていますが、今後は選挙の応援の仕方も再検討し、工夫してゆく必要があります。市民の風では知恵を寄せ合って、コロナ禍の中にあっても発信力を高めていきたいと思えます。

2. 今後の活動方針

- (1) 北海道における市民と野党の共闘づくりと統一候補による議席獲得のために力を尽くします。
- ・「市民による政治参加」と「市民が望む政治の実現」を主たる目的とした活動に取り組みます。
 - ・目的を共有する政党、労働団体、市民団体などと連携・協力し運動の輪をさらに広げていき、北海道における運動のプラットフォームづくりに取り組んでいきます。
 - ・北海道における市民と立憲野党間の橋渡し・接着剤・間接ギアとなって、共闘による統一候補の実現と議席獲得をめざしていきます。
 - ・2区補選と衆議院議員選挙では、市民と野党の共闘によって自公政権を打倒し、政権交代をめざす闘いを視野に入れます。衆院本選において北海道では現議席に上乘せすることをめざし、そのために選挙区・比例区で、どのような共闘や取組みが可能であるか考えていきます。
 - ・市民と野党の共闘による統一候補者の決定についても、政党側からの一方的な決め方ではなく、出来る限り各区の市民の会や市民の風との連携・協議の中で決定が進められるよう求めていきます。
 - ・北海道の市民と立憲野党との連携・連絡を円滑にすすめるために、各党の幹事長・事務局長レベルとの定期的な協議の場（会議）の開催をよびかけます。
 - ・北海道の市民と立憲野党との意見交換や情報提供のために、市民と各党役員・議員との懇談会の定期的開催を呼びかけます。
 - ・全道各地で市民と野党の共闘をつくるために活動している各市区市民の会との連携・連絡のために、定期的な連絡・協議の場（会議）の開催をよびかけます。
 - ・SNS とリモートを活用した活動を模索し、実現していきます。同時にコロナ感染症に配慮した新しい対面による活動の在り方を模索し、実現していきます。
- (2) 市民の政治への参加を呼びかけ、政治や選挙への関心を高める取組みをすすめます。
- ・国政選挙の低投票率と政治に対する無力感・無関心の広がりに対して、市民による政治参加をよびかけ、投票率の向上をうながす活動に取り組みます。
 - ・主権者が主体的に判断するために必要な情報を、様々な活動やルートで提供していきます。
 - ・コロナ感染症防止に配慮しながら、政治や選挙に関しての定期的な学習会・集会の企画・開催に取り組みます。
 - ・市民の風の活動から生まれた様々な行動や活動について、今後とも市民の風の目的に沿ったものであるなら積極的に連携・参加して支援・応援していきます。
 - ・事務局体制の充実をはかるために「事務局員」「事務局サポーター」を適宜増員します。
 - ・「会員」については会員になる意志があり会費を納入した人として。「総会」だけでなく「会員集会」などを開催して、意見交流や実践交流をはかります。
 - ・「市民の風・北海道」は、①言い出しっぺからやる、一人でもやる②参加する団体・個人の違いを認め合い誹謗中傷はしない、③「ゆるやかに・しなやかに・したたかに」そして「楽しく・面白く・愉快地」、で活動していきます。

年月日	件名	活動内容
2019.11.24	第4回定期総会	活動報告と今後の方針を決定、規約改正と役員選出を行った
12月2日	れいわ本部訪問	小林が沖永事務局長と面談
12月6日		立憲の枝野代表が合流の呼びかけ
12月6日	新潟の佐々木さん懇談会	
12月7日	第3回ちかほフェス	国会議員とおしゃべりカフェを新設
12月10日	事務局会議	新体制で発足
12月21日	厚別集会	池田まきさん参加
2020.01.06	結城さんと小樽で	上田、結城、川原、山口、井上、大平、小林が参加
2020.01.09	事務局会議	衆議院選挙に向けての選挙。政策学習会の取組み 国民民主党代表・幹事長と風事務局との懇談会(1月15日(水)夜) れいわ新選組との関係について 5区でのことについて 8区(函館)に市民の会の設立の取組みについて
1月19日	市民連合@くしろ・ねむろ設立集会	山口共同代表参加
1月21日	事務局会議	終了後、選挙チームの選挙学校
1月26日	円卓会議世話人会	一度リセットして考えることで合意
1月28日	市民連合拡大運営委員会	東京 川原参加
2月4日	わくわく選挙づくりチーム	第一回会合 9名中6名出席
2月4日	事務局会議	各種学習会について 8区市民の会設立の取組みについて 「れいわ」に対する市民の風・北海道のスタンスについて 無投票層への働きかけについて
2月17日	事務局会議	各種学習会について 市民と立憲野党の幹事長会談について 島田さんをサポーター事務局員に変更(母親の介護で)
2月23日	暮らし・経済問題学習会	「格差社会をどうする」講師：唐渡興宣さん、40人
2月26日	市民連合拡大運営委員会	川原出席、2月19日に市民連合と立憲、社民、国民、共産、社保との意見交換会が、れいわは都合がつかず欠席
3月4日	事務局会議	
3月17日	事務局会議	選挙情勢と衆院選にむけた取組について 各区の会連絡会の開催について 2/20 予定
3月20日	各区の会連絡会	自治労会館 中止
4月8日	事務局会議	
4月19日	事務局会議	

5月7日	事務局会議	
5月19日	事務局会議	ZOOM で会議 コロナ防疫のため6月は休みに。
6月12日	わくわく選挙づくり チーム	北海道選管に「多くの有権者が投票できるような施策の実施を要望」 提出 8月28日に文書回答あり。10月5日文書回答あり。
6月23日	わくわく選挙づくり チーム	札幌市選管に「多くの有権者が投票できるような施策の実施を要望」 提出 8月28日に文書回答あり。
7月7日	事務局会議	ZOOM 兼用
7月11日	市民連合拡大運営委員 会	ZOOM 川原出席 連合政権構想と共通政策について
7月21日	事務局会議 ZOOM 兼用	環境研修室で対面の会議再開 ZOOM 併用 政権構想、選挙で勝つにはどうしたら良いか 政権構想枝野私案の検討 ライブ隊新曲「ただ言えることは」
7月30日	共産党道委員会と意見交換	風事務局と。コロナ社会に立ち向かう政権構想を、政党間および市民 との間で共有が必要。
7月31日	円卓会議世話人団体合 合	今すぐ円卓会議で何かできるという状況ではないが、今後も世話人団 体で意見交換は行って行こう。
8月3日	事務局会議 ZOOM 兼用	提案一「市民の風」今後の運動の方向についての検討 ユーチューブチーム結成 10区 街頭宣伝の頻度をあげて「コロナを解決できる人を国会に送 ろう」と呼びかける。2区 各党支部に「統一候補予定者選定の要請 書」提出。3区 荒井さんとコロナと北海道行政、合流問題について 懇談予定
8月5日	立憲道代表と意見交換	風事務局と。政党合流について、政策について。
8月9日		道新報道 道2、5、9区 共産、候補擁立へ 衆院選
8月10日	ライブ隊	https://uchujinyuh.blogspot.com/2020/08/blog-post.html 「いつでも 誰でも 何度でも」発表
8月15日	わくわく選挙づくりチーム	札幌市選管と意見交換 各区のシンボルマークの活用など
8月17日	事務局会議 ZOOM 兼用	野党共闘と「市民の風」の今後の運動の方向について 「国会ひらけ」の署名を呼びかけることに
8月25日	コロナ学習会	ZOOM 講師西尾正道先生
8月29日		安倍首相退陣表明
8月29日	市民連合全国意見交換 会	川原、小林が参加
8月29日	脱原発をめざす女たちの会	寿都やめて！核のごみ捨て場スタンディング 200人以上の参加
8月30日	市民連合@くしろ・ねむろ 集会	川原 ZOOM で講演 100人参加
9月1日	市民の風のホームペ ージの整理	市民の風の旧バージョンのホームページを廃止。 現行のホームページは生きています。

		https://www.siminnokaze-hokkaido.net/
9月2日	各党幹事長と会談	今後の意見交換について
9月3日	個人でも立つ	小林善樹さん 道庁前（赤レンガテラスの北側の広場）で始める。
9月7日	事務局会議 ZOOM 兼用	「新しい政治・社会をつくる市民と政党の連携と協同の提案」 「総選挙に向けて市民の風・北海道と政党との連携・協同についての基本的な考え方」を協議
9月12日	レインボープライドパレード	距離はとって、マスクして、声をださず
9月14日	事務局会議 ZOOM 兼用	「新しい政治・社会をつくる市民と政党の連携と協同の提案」 「総選挙に向けて市民の風・北海道と政党との連携・協同についての基本的な考え方」を決定 全員集会の招集を協議
9月15日		立憲・国民の合流
9月16日	臨時国会	菅義偉（すが よしひで）内閣誕生
9月17日	会報発行	第11号 郵送
9月21日	会員集会	会場に28名、ZOOM 21名 「新しい政治・社会をつくる市民と政党の連携と協同の提案」 「総選挙に向けて市民の風・北海道と政党との連携・協同についての基本的な考え方」を確認
9月25日	各党訪問	市民の風の提案提出、上田、川原、山口、小林で。
9月25日	市民連合	15項目の「立憲野党の政策に対する市民連合の要望書」の発表
9月27日	市民連合意見交換会	約32県から70名が参加。「連合は共産党を排除するとはひと言も言っていない。組しないと排除は全く違うのであって、連合は、選挙は政党が行うことなので、立憲と共産党が手を組むことは関知しない、勝手にどうぞ」という立場だとの紹介あり。
9月29日	共産党から文書回答	大変積極的な内容を持ち、尊重する。
10月4日	各区の会連絡会	参加は1区、2区、3区、4区、5区、6区、7区でした。 10区、12区はペーパー報告。 月一回定期的に政党と市民の意見交換会を続けている旭川の取組み、立憲野党に共闘への熱意を求める釧路の取組み、前回の痛みを抱えながら統一候補の実現の努力を続けている北区・東区の取組みなど。
10月7日	事務局会議 ZOOM 兼用	統一候補実現の課題 ・ 道連合との話し合いについて ・ 幹事長・書記長会談について
10月10日	山本太郎街宣	札幌駅南口
10月15日	ZOOM 学習会	「民営化に抗して～私たち庶民のための経済～」講師中村由紀夫さん
10月15日	3区 共産党訪問	三区市民の会が共産党北海道委員会を訪問、意見交換。
10月15日	ノボリ旗	市民の風のノボリ旗、発注受領 15枚
10月21日	事務局会議 zoom 兼	野党共闘の進捗状況について

	用	
10月22日	れいわと意見交換	北海道には窓口がない、市民の風の提案を本部に送るよう依頼。
10月22日	幹事長・書記長会議	立憲、共産、社民が参加。市民の風の提案に賛同。定期的に開催で。
10月22日	1区の会道下議員と懇談会	市民と野党の共闘を求める1区の会が小規模懇談会を開催 道下さんは「死にもの狂いで政権交代を取りに行く。憲法、原発、消費税を自公への対立軸として、共産党、令和を含めた幅広い共闘を造りたい。」とのべた。
10月31日	第4回チカホフェス	憲法とくらし チカホフェス実行委員会主催
11月3日	5区 市民集会	「スガ政権と野党共闘」、 「学術会議への不当な攻撃」
11月4日	事務局会議 zoom 兼用	第5回定期総会と会報の発行を確定
11月5日	市民連合@くしろ・ねむろ	各党訪問 幹事長と面談
11月7日	れいわ本部に連絡	沖永氏事務局長と意見交換、北海道の窓口を求める。
11月14日		社民党分流、北海道は残る
11月18日	事務局会議 zoomのみ	12月19日に市民の風・北海道の第5回総会を2月に延期決定 北海道選出議員事務所との情報交流を深める。
11月28日	道新記事	道内現・前5議員 公選法抵触の恐れ
11月29日	高田健さん講演会	34名の参加・安易に「政権構想協議」を持ち出すとまとめられなくなる。各々の立ち位置で、政権交代に向けた共闘の取組みを。
12月2日	事務局会議 zoomのみ	選挙時期の見通と政権合意と候補者の一本化の見通しについて、 1月解散の線は無くなり、4月か秋と考える。
12月4日	政治資金解明チーム	立上げの呼びかけ
12月8日	幹事長・書記長会談	立民、共産、社民、市民の風出席 1/16に共同街宣の企画と1月下旬のオンラインシンポを合意
12月16日	事務局会議 zoomのみ	幹事長会談の報告
12月22日		吉川辞任、衆議院北海道2区の補欠選挙
12月23日	緊急役員会 面談	衆議院北海道2区の補欠選挙について
12月24日	緊急事務局会議 zoom	衆議院北海道2区の補欠選挙について 2区補選での共闘を求める野党への要請書作成
12月28日	各党要請と記者会見	立民、共産を訪問、道政記者クラブで会見
2021年 1月3日	北区東区の会に要望	1. 1月16日共同街宣の連携。 2. 2区補選について風会事務局との意見交換の場の設定。
1月6日	事務局会議 zoomのみ	1月16日の共同街頭演説会について 1月30日の政党共同シンポジウムについて
1月13日	記者会見	道政記者クラブ、「2区補選のその後の進捗状況について」 1月16日の共同街頭演説会について 1月30日の政党共同シンポジウムについて
1月15日		2区補選で自民擁立断念の報道

1月16日	共同街頭演説会	大通西3丁目と麻生にて、盛会でした。逢坂、青山、浅野、上田 ライブ中継成功
1月19日	東区北区の会の集会	部内集会。共産、立憲、松木、平岡の4者との意見交換。70名
1月20日	事務局会議 zoom のみ	1月30日の政党共同オンラインシンポジウムについて オンライン配信機材の購入について
1月30日	オンラインシンポジウ ム	各党2名、実況中継230人視聴。その後述べ566人となっている
1月31日	立民党大会	枝野代表が政権構想を持ち、政権交代に臨むことを発言
2月3日	事務局会議 zoom のみ	総会準備について
2月11日	街頭宣伝	森会長！性差別発言！どうぞご辞任下さい！ 主催 女も男も共に生きる社会をめざす会
2月21日	第5回定期総会	

- 市民の風北海道のホームページ、<https://www.siminnokaze-hokkaido.net/>
市民の風北海道のフェイスブック、<https://www.facebook.com/kaze.hokkaido/>
市民の風北海道のツイッター、@kaze_hokkaido
で発信を随時行っています。
- これらの活動以外に、「新聞読んで語ろう会」「中央区の大街宣」「女も男もともに生きる社会をめざす会」や各区の市民の会など連携団体の活動や、「各地域での朝街宣」「3の日行動」「9の日行動」「14日の届け沖縄への思い in 琴似」などな様々な取組が行われています。